広がる5Sの輪

足利5S学校ニュース

整理 清掃 清潔 整頓 躾 5S

第6期インストラクター養成研修
希望者多数につき今年度第2回目を開催
後期生と実践職場提供事業所の募集開始

足利5S学校(石井金吾校長／㈱石井機械製作所会長／足利商工会議所常任顧問)では、今年5月から実施している第6期インストラクター研修の参加希望者が定員を上回り好評であったことから、11月より第6期の後期研修を実施することを決め、参加者と実践職場受入事業所の募集を開始した。

後期研修は、11月から3月の5ヶ月間、毎月第2・第3水曜日の午前10時から午後5時まで実施する延12回コース(11月・2月は第2・第3・第4水曜日)で、5Sの定義と目的、改善による効果やマネジメントの基礎知識などインストラクターの心得と実践手法を学ぶ。

研修生は、足利市内の足利商工会議所会員事業所並びに市外の事業所に勤務する社員等で年齢や性別は不問だが、全カリキュラムの受講が可能なこと等が条件。定員は、市内事業所の受講者9名と市外事業所6名の計15名。一人あたりの研修参加費として教材・昼食代を含め市内は3万円、市外企業は15万円を予定。但し、受講に係る交通費や宿泊費は自己負担となる。申込み先着順。定員を超えた場合には、来年の研修参加をお勧めする。

また、研修生が実際に現場で5Sの指導実習を行う実践職場提供事業所も併せて募集している。実践職場提供事業所は実際に現場指導研修を行う職場を提供する形で、専門家と研修生による具体的な5S支援(概ね月1回2～3時間)を5ヶ月間受けることができるもので、自主性を尊重した足利流5S活動を理解し今後積極的に取り入れたいという市内の事業所が対象となる。公募の対象は足利商工会議所会員の市内事業所で業種業態は問わない。

応募にあたっては、研修生・実践職場提供事業所ともに事前に足利5S学校事務局に電話(21―1354)で相談を。締め切りは9月30日。詳細は事務局まで問合せを。

(小林恵記)

今年5月から始まった第1期インストラクター養成研修「基礎」のワークショップの様子

5Sで企業力アップ！
インストラクターと専門家を有償で派遣
小規模企業5S導入支援制度

足利5S学校では、小規模企業5S導入支援制度を設けている。これは、インストラクターと専門家を企業に派遣して、実践的な現場改善を通して企業の経営力向上を図るもの。平成24年度から始まった同制度は、市内小規模事業者の円滑な5S導入と5S意識改革に役立っている。

対象は従業員数20名以下の市内の小規模事業者(業種業態を問わない)。足利5S学校の専門家と5Sインストラクターによる現場指導で、年間6回の巡回指導を2年間継続(合計12回の企業訪問指導)がお勧めコース。基本的には2ヶ月に一度の支援で、何月からのスタートでも対応は可能で、年度末(3月)までに6回の現場実践支援ができる。費用はリーズナブルな設定で1回につき2万円の6回コース(1年間で12万円)。2年分として24万円を企業が負担(消費税は別途)。

申込先は、足利5S学校事務局(経営支援1課5S推進担当☎21―1354)まで。

(小林恵記)

「足利5S学校」月例ネットワーク工場見学会
ツールを工夫し改善重ねる
㈱都ドレス

5Sツールの説明をする㈱都ドレスの松本静夫社長

足利5S学校では、6月16日に㈱都ドレス(佐野市浅沼町)でネットワーク見学会を開催し、市内他近隣の企業から15名が参加した。

同社の松本静夫社長が歓迎の挨拶をしたあと、5S実践活動の取組みが説明され会社内を見学した。高級婦人服の縫製を行っている同社は、地場産センターを通じて5Sの取り組みを知り、平成17年11月に5S活動をキックオフさせた。職場は毎日大量の裁断ゴミが出ることから、3S(整理・清掃・整頓)に徹底して取組み、職場の環境保全を行っている。

また、社員一人ひとりが仕事のやり方を工夫する手段として改善ツールであるイレクター活用、掃除機を作業台の下に埋め込んで裁断をしながらゴミを吸引する、など改善工夫にも取り組んでいる。

足利5S学校では、毎月1回工場見学会を行なっている。次回見学会は以下の通り。

■日時：8月25日(火)午後2時～3時30分
■会場：足利印刷㈱(福居町282番地)現地集合・現地解散
■定員：20名(1社1名まで)申込み順・定員になり次第締切り
※大変恐縮ではございますが、より多くの事業所の方々にご参加頂くために、今回より、前月に参加された事業所の連続参加はご遠慮頂きたくお願いします。またカメラ撮影は全面的に禁止とさせていただきました。
■参加費：お一人1千円(当日受付にて申し受けます)
■申込先：経営支援1課5S推進担当(☎21―1354)またはメール(gyoji@ashi-cci.or.jp)で。

【足利5S学校会員特典】足利5S学校会員(個人・法人)は、1会員につき1名は無料で年間を通じ参加できる。尚、毎月の見学会受付は先着順となるため、予めご了承を。詳細は足利5S学校HPhttp://www.ashikagi.or.jp/gyoji/参照。

(小林恵記)

菊地歯車㈱、オグラ金属㈱で業務効率化の取組みを視察
㈱中村屋

菊地歯車㈱の5S改善現場様子を視察する㈱中村屋の参加者

オグラ金属㈱の5S改善現場様子を視察する㈱中村屋の参加者

㈱中村屋(東京都／菓子製造販売業)の5S視察団(12名)が6月23日に足利を訪れ、業務効率化の取組みを視察した。

昨年11月に開催された世界5Sサミット2014足利に参加した同社の担当者が、自主改善に取り組む足利流5S活動を参考にしたいとして、このほど足利5S学校に入会し5S活動を活発にしようと来足した。

視察先は菊地歯車㈱(福富新町)とオグラ金属㈱(川崎町)で、製造現場での自主性の強化、見える化による安全面への配慮、在庫削減やムダ取りによる改善への意識改革などの必要性を感じた様子であった。最後にきむら5S実践舎の木村温彦代表による講話が行われた。

(小林恵記)

5Sから得られる効果
「使えるもの」「使えないもの」
②整理で捨てる判断基準

先月より連載をスタートさせて頂き、前回は「整理」についての考え方を述べさせて頂きました。5Sは全ての基本で誰にでも出来るという声をよく聞きます。けれども、実際に進めていくと難しいことにも直面します。意思を持てば一人からでも5Sは始められますが、人前で道具を持って一人で掃除をするには勇気が必要です。整理一つ取っても、不要なモノを捨てる時には思い切った姿勢がないと捨てることが出来ません。いざ5Sをスタートしてみると、思ったより難しくて進まずに頓挫している場面にも多く出くわします。また、5Sの本質を知らず(教えず)に理解されないでスタートすると、一人一人が別々な捉え方をして捨てられなくなります。5Sは企業(人)のレベルに合わせながらステップを踏んでベクトルを合わせて出来る活動です。

ここで、前回に続き整理について考えてみます。今回は判断基準についてです。最初に整理を行うときの分別の判断は「使えるもの」「使えないもの」で分けられます。次に使えないものを捨てることになりますが、使えないものは誰でも比較的楽に捨てることが出来ます。使えないものを捨てきっただけでも見違える企業もありますが、これだけでは整理出来たとは言えません。次に「使えるもの」として残したものでも「使う」「使わない」に分けられます。この使えるけれど「使わない」ものを見極めながら判断して勇気と決断で捨てていくことになります。「使えるのに捨てるなんてもったいない」という声が聞こえてきそうですが、それはとてもいい傾向です。何故ならその職場には何の役目も果たしていなかった「使えない」ものが無くなったという効果があって初めて出てくる言葉だからです。

きむら5S実践舎
鈴木　浩也

小さな職場の大きな改善
整理・整頓の秘密教えます

8/27(木)
先着30名様

足利5S学校では、市内の事業所のさまざまな業種で展開されている5S実践の成功事例の発表会を開催する。自社の発想の転換にぜひお役立てを。

日時：8月27日(木)午後5時30分～7時
会場：足利商工会議所友愛会館
定員：先着30名
実践事例発表事業所：(株)エステート・ワン(伊勢町/不動産業)、(株)Mハートプラン(田中町/カーテン小売業)、(有)さくら精機(堀込町/機械製造業)

足利5S学校 5S無料相談会

これから5Sを始めたいがノウハウを知りたい…、「整理・清掃・整頓…」のインストラクターが相談にお応え致します。お気軽にご来所の方はご都合の時間等を事務局までご連絡下さい。

【日　時】8月4日(火)午後1時～4時
【場　所】足利商工会議所友愛会館(通3丁目)
【問合せ】経営支援1課5S推進担当(☎21―1354)
(お電話でのご相談にも随時対応しています。)

「整理・清掃・整頓…」などに、自社の5Sをもうひとレベルアップしたい。